

神の母聖マリアの説教

金 大烈 神父 2009年1月1日(木)

《信仰を基準とし、信仰によって》

おめでとうございます。

私達は昨夜のミサを通して一年の感謝を捧げました。そして、今、この新しい年を迎えて、気持ちよく希望に満たされた気持ちで、このミサを捧げています。

1年半前に私がこの教会に来た時、皆様にお話しした私の司牧方針を憶えていらっしゃると思います。一番目は"祈る共同体"、二番目は"分かち合う共同体"、三番目は"述べ伝える共同体"。この3つの司牧の方針に合わせて、今まで土台を造ろうと頑張ってきました。ある意味"外観的な環境づくり"に力を入れて来たと思います。今年は"外観的"な部分ではなく、"内面的" "霊的" "信仰的"な面にもっと力をいれたいと思っています。私はこの一年、色々な事があっても、皆様が信仰的な体験が出来る様、信仰的な喜びを感じられる様に、その様な事を目指して動こうと思っています。

その為には私達は何が一番必要でしょうか。私がこの1年半の間に見てきた事を少し分かち合いたいと思います。この共同体は、色々な面で神様から"タレント"を頂いた人々が"多すぎる"と言えるくらいに沢山います。しかしそのタレント、神様から頂いたその恵を生かしきる事が出来ず、その人の中にまだ隠されていると感じる気持ちが強くありました。今年はお互いに生かしましょう。互いに生かせば、たぶんこの共同体はもっと豊かになれると思います。

昔から、そして未来も同じだと思いますが、人間の弱さの中で変わらない事が一つあります。日本語の中に"気に入る" "気に入らない"という言葉があります。よく使いますよね。「あの人は気に入らない」、「あの人は私がどう頑張っても顔を合わせたくないほどの難しさがある」。どういう意味ですか。そして「気が合う。気が合わない」という表現もあります。

そうです、私達には"好き・嫌い"があります。その性格によって、生い立ちやその環境によって、色々な出来事によって好き嫌いが生まれます。それは食べ物だけではなく、人間の関わりの中にも必ずあります。どんなに頑張っても、心の平安を乱してしまう様な相手がいるかも知れません。それが、私達が持っている大きなつまずき、誘惑であり、私達の成長を妨げるものではないかと私は思います。皆様、人の一部が嫌いになったら、その人の全てが嫌いになります。これが変わらない真理かも知れません。これからはそれを無くしましょう。私達は"信仰を基準とし"、"信仰によって"考えましょう。この様な事が出来れば、私達は今までどれくらい無駄なエネルギーを使ってしまっていたか、よく分かることになると思います。よく考えて見て下さい。何故、力を合わせられないのでしょうか。それは、私達の心の底にある"傷"によって生じることだと思います。

皆様、夕べ、ヨハネによる福音を読ませて頂きました。《イエス様は自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである》。そうです。私達はこの言葉とおりの生き方をしなくてはならないと思います。やはり人間ですからぶつかりもあるでしょう。合わない意見もあるでしょう。

それはそれとしておきましょう。私達には"イエス様が何を望んでいるのか" "み旨に相応しい私達の態度とは何か" を考えようとする態度が何よりも必要ではないでしょうか。

皆様、神様を愛していますよね。愛していますか。本当に愛していますか。イエス様を愛していますか。その言葉に適う言葉と態度を見せましょう。けんかをして、健全なけんかをしましょう。発展を目標としたものにしましょう。ただぶつかり、何も残らない、ただ傷だけが残る、その様な"いらぬ戦い"は止めましょう。皆様は今まで上手くやってきました。しかし私達が内面的に、信仰的

に満たされた体験が出来る為には、何よりもこの様な基本的な姿勢が必要ではないかと思ひます。

もう一つ、今年は信仰的なものを得ようとする心をお持ち下さい。やる気がある人に現れます。求める人に与えられます。ただ習慣的に教会に来ているのではなく、わざわざ足を運んでここまで来ているのに、何故何も得ようとしていないのか。よく振り返ってみましょう。必ず得られます。皆様が望んだら必ず下さいます。もう既に下さっているかも知れません。頂いたものをただ私達の目が濁ってしまつて見られないのかも知れません。

皆様、今年はずっと厳しくなると思ひます。経済的に、また色々な困難に困まれて悩む人が増えていくと思ひます。しかし何が起つても、私達は変わらない信仰の喜びに満たされなければならないと思ひます。皆様が信仰として求めようとするものは何なのでしょう。それを忘れないで下さい。いつも意識して、他の人とぶつかつて腹がたつても、何故「私が腹が立つのか」を先に考えて下さい。腹を立てる前に「私がこの様に感情的に激しくなるその理由は、相手ではなく自分の中にあるのではないか」、それを先に考えてみる、その余裕が私達は必要でないかと思ひます。

皆様が先程おっしゃつたように、皆様が神様を、イエス様を、マリア様を愛しているのを知っています。しかし「愛する」という事はそんなに容易くできるものではありません。人間と人間の間でも難しいのが、その「愛」です。しかし神様、いつも負けて下さる、その神様を愛しようという気持ちがあれば、神様は、皆様が自分も知らないうちに、神様を愛する事が出来るように導いて下さると思ひます。

さあ、今年「希望の年」として力を合わせましょう。色々な事があつても、私達の目的が、「神様に、神様のみ旨に合わせる事こそが、私達にとって何よりも幸せな道」である事を意識しながら進みましょう。

最後に、今日の福音でマリア様が見せて下さつた姿勢をもう一度読ませて頂きます。

《マリアはこれらの出来事を全て心に納めて、思い巡らしていた》心に納めて思い巡らすとはどの様な事か皆様よくご存じだと思ひます。それは「神様、あなたのみ旨は何でしょうか」と耳を傾けようとする態度です。

この様な態度で今年を頑張ってみましょう。

ありがとうございました。